

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【公開番号】特開2005-160762(P2005-160762A)

【公開日】平成17年6月23日(2005.6.23)

【年通号数】公開・登録公報2005-024

【出願番号】特願2003-404316(P2003-404316)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 E

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月25日(2006.12.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

本体と、前記本体に対して開閉可能に備えられる開閉体と、を有する遊技機において、前記開閉体の一端側を回転軸として回転させるようにして当該開閉体の他端側を前記本体に対して開閉させる片開き手段と、

前記開閉体を前記本体に対して開いた状態にするに際し、前記片開き手段の前記回転軸を、前記開閉体を前記本体に対して閉じた状態での第1位置から前記本体の前面側でかつ前記本体の他端側の方に所定距離だけ移動させた第2位置に変位させる回転軸変位手段と、

を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機において、

前記回転軸変位手段は、

前記第1位置から特定距離離れた第3位置と前記第2位置から当該特定距離離れた第4位置とを結んだ第1案内部と、前記第3位置から前記本体の幅方向で他端側の方に所定距離離れた当該幅方向の所定長さの第2案内部と、を水平面領域に有する、前記本体に設けられる基体と、

前記第1案内部内を前記第3位置から前記第4位置に摺動する第1摺動部と、前記第2案内部内を前記第1案内部に近い側から遠い側に摺動する第2摺動部とを、線分の両端にそれぞれ位置するように設けられ、かつ、前記第1摺動部から前記本体の前面側で一端側寄りに延出した延出部を有する可動リンクと、

前記延出部に対して回動可能に取り付けられた回動軸部と、前記回動軸部から所定方向に突出した突出部とを備えた連結板と、

一端が前記連結板の前記突出部に回動可能に取り付けられ、かつ、他端が前記基体の前記第2案内部に近い端部の所定箇所に回動可能に取り付けられた可変リンクと、

前記連結板の前記回動軸部および前記突出部にそれぞれ設けられた嵌合ピンと、

前記各嵌合ピンに嵌合される嵌合孔をそれぞれ有する、前記開閉体に設けられた掛合部材と、

を備えていることを特徴とする遊技機。